

平成28年度

イノシシ管理事業実績報告書(市町村分)

イノシシ

白石市	1
角田市	3
蔵王町	5
七ヶ宿町	7
大河原町	8
村田町	10
柴田町	11
川崎町	12
丸森町	13
仙台市	15
名取市	18
岩沼市	19
亘理町	20
山元町	21
大和町	23
大衡村	25
大崎市	26
色麻町	27
加美町	28
栗原市	29

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

H28計画	H28実績	評価
(4)その他	(4)その他	
3 その他	3 その他	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 7.00 ha (H27) 7.90 ha</p> <p>(2)金額 8,800 千円 (H27) 9,773 千円</p> <p>(3)作物 水稲、馬鈴薯等芋類、スイカ等野菜類</p> <p>(4)その他 水田畦畔破壊、農道法面破壊も数件報告されている。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.15 ha</p> <p>(2)金額 8,475 千円</p> <p>(3)作物 水稲、馬鈴薯、かぼちゃ、長芋、大豆、その他野菜類</p> <p>(4)その他 一部、水田畦畔損壊、農道法面損壊の報告あり。</p>	<p>○ 昨年度は、被害面積7.9 Oha、被害金額は9,773千円であったが、個人農業者のほか集落ぐるみの電気柵設置及び駆除隊員に捕獲わなを貸与すること等により、昨年度の被害状況に対しては、被害面積は微増であるが、被害金額は減少した。また、捕獲頭数(1,277頭)も増加した。 全体として被害抑止が図られた。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 1,000 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 農作物被害の大きい地域において、また、狩猟免許保持者等に対して、鳥獣被害防止講習会等を実施する。</p> <p>○ 引き続き、角田市有害鳥獣駆除隊員に、捕獲わなの無償貸与を行う予定である。また、農業従事者等に向け、狩猟免許取得に関する情報を提供しながら、角田市の補助制度を活用した免許取得について周知を行い、当該所有者の増加を図る。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 1,227 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 中山間地域4地区及び集落ぐるみでの電気柵設置4地区の計8地区において、専門家を講師に、イノシシの習性等及び被害防止対策に係る勉強会を実施した。</p> <p>○ 角田市有害鳥獣駆除隊員(以下「駆除隊員」という。)を対象に、イノシシ捕獲に関する技術向上のための現地研修会を実施した。</p> <p>○ 全戸配布により、イノシシ被害防止対策及び角田市の被害防止に関する補助制度の周知を図った。</p> <p>○ 狩猟免許取得者の増加(市補助金交付3件)が図られた。</p> <p>○ 駆除隊員に対し、捕獲わなの無償貸与を行った。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 19,692 千円</p> <p>○ イノシシの習性等を踏まえた被害防止対策等の広報、周知や被害防止のための電気柵等の設置を推進し、また、併せて通年捕獲を実施したことは、被害抑止に効果があった。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>○ 電気柵の増設を図るため、引き続き購入費用に対する補助を行う。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 市内各地区での講習会等の実施により、耕作放棄地の解消やイノシシを寄せ付けないような、出没しにくい環境対策の啓発に努める。</p> <p>(4) その他</p>	<p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 勉強会等の実施により、環境整備の重要性について周知、啓発を行った。</p> <p>(4) その他</p>	<p>○ 電気柵の設置については、これまで、集落ぐるみでの設置が5地区63.5km、市が支援した個人等による電気柵等の設置が105km以上、このほかに個人での設置がある。こうした電気柵等の設置により、設置した耕作地のほとんどがイノシシ被害を防止しており、電気柵等の設置エリアについては、大いに効果が表れている。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 6.64 ha (H27) 7.62 ha</p> <p>(2)金額 5,247 千円 (H27) 9,876 千円</p> <p>(3)作物 水稻、いも類、野菜類、豆類</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.96 ha</p> <p>(2)金額 3,472 千円</p> <p>(3)作物 水稻、豆類、果樹、飼料作物、野菜類、いも類</p> <p>(4)その他 花き(苗物)被害面積 0.0025ha 被害金額 50千円</p>	<p>○ 山の実りが悪く被害の増加が懸念されたが、有害捕獲や防除対策の強化により被害面積及び被害金額ともに目標値を下回ることができた。</p> <p>食害による被害を比較すると、前年度の被害面積は7.52ha、被害金額は6,760千円であり、今年度の被害面積は3.96ha、被害金額は3,422千円となり、被害面積及び被害金額はともに前年度の約2分の1であった。</p> <p>前年度より新たに発生した花きへの被害が今年度も引き続き発生しているため、食害以外の被害防除対策をより一層強化したい。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 250→400 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。前年度より補助率を上昇している。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 356 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵設置に対する補助金 件数 25件 補助金額 1,279千円</p>	<p>※年間被害対策経費合計 7,103.8 千円</p> <p>○ 蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 5,803千円</p> <p>○ 野生鳥獣被害防止施設(電気柵等) 置事業補助金 1,279千円</p> <p>○ 鳥獣被害対策担い手育成事業補助金 21.8千円</p> <p>○ 電気柵の設置状況について、農作物被害の報告があった農地の10%～20%程度が設置できているものと推察しているが完全に把握できていない。被害金額が設置費用を上回る農地や設置に掛かる経費以上の収入が期待できる農地での普及率は高く、効果はあるとの報告を受けているが、それら以外の農地では被害防除用ネット等の設置程度に留まる傾向がある。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>○ 生ゴミや農作物残さを適正処理するよう農家へ指導。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努める。</p> <p>(4) その他</p>	<p>○ 周知チラシの配布</p> <p>○ 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 目撃や被害報告があった農家へ、耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。</p> <p>(4) その他</p> <p>○ 町対策協議会に対する補助</p> <p>○ 鳥獣被害防止総合支援事業交付金の活用(捕獲用わな購入)</p>	
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.70 ha (H27) 0.98 ha</p> <p>(2)金額 1,390 千円 (H27) 1,311 千円</p> <p>(3)作物 水稲・野菜被害の軽減</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.00 ha</p> <p>(2)金額 2,826 千円</p> <p>(3)作物 水稲、そば、なたね</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 水稲被害が増加したため、全体的に前年度よりも被害増となった。しかし、野菜と牧草に関しては被害が減少している。</p> <p>町としては、金網柵及び電気柵の設置推奨を行ってきたが、「イノシシ」の増加に伴い、柵の無いところが被害にあったと考えられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵設置の推奨 ○ 電気柵講習会の開催</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 放棄、取り残し農作物の除去の指導 ○ 農地周辺の除草作業の実施の実施 ○ 耕作放棄地の軽減 ○ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業の実施 ○ 耕作放棄地の軽減</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 65 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵に併せ金網柵設置の推奨をしたが、被害軽減には至らなかった。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置が見受けられた。 ○ 周知による効果が出始めてきた。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 14,565 千円</p> <p>○ 捕獲目標は達成したが、前年度以上にイノシシの出没件数が増加した。</p> <p>○ 電気柵等の設置推奨を、継続的に行う。</p> <p>○ 農作物の除去及び農作放棄地の指導改善、周知の徹底を図る。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

大河原町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.90 ha (H27) 3.20 ha</p> <p>(2)金額 2,495 千円 (H27) 2,671 千円</p> <p>(3)作物 水稻、野菜(いも類)、たけのこ</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.20 ha</p> <p>(2)金額 2,465 千円</p> <p>(3)作物 水稻、野菜(いも類)、たけのこ</p> <p>(4)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 捕獲体制を整備しているものの、個体数の減少までは到達していない。 ○ 被害届を提出せず自主防除に取り組む農家も多いとみられる。 ○ 電気柵等の導入を呼び掛けているが、農地所在の特性上(農地が点在し集団的な農地が少ない)共同による導入が進まない。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 60 頭</p> <p>(個体数調整) 0 頭</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 80 頭</p> <p>(個体数調整) 0 頭</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p style="text-align: right;">3,829 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 80頭の計画に対し80頭の実績となった。捕獲した個体数以上の生息数が増加していると考えられ、今後の対策が求められている。 ○ 一方、新規狩猟者の減少や高齢化により捕獲数の減少も懸念されており、農家による草刈の徹底や周辺林地の適正な管理、網や電気柵の設置など、引き続き自主防除を呼び掛ける必要がある。 ○ 自主防除により一定程度効果のあった一方で、自主防除をおこなわず被害が発生している農家もあり、今後の指導の徹底が求められている。 ○ 狩猟者の高齢化により捕獲した個体の処分も負担となっている。 ○ 平成27年度の電気柵に関するアンケートの結果、回収数158世帯(全農家数→382世帯、回収率41.4%)のうち電気柵設置農家数は16世帯(10.1%)となった。平成28年度はアンケートを実施していないので、農地面積の何%は調査していない。

H28計画	H28実績	評価
<p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵実証試験事業(町単独事業)として電気柵の貸出をおこない27年度に引き続き忌避効果の実証をおこなう ○ 講習会を開催し被害防止情報の共有を図る。 ○ 廃棄野菜、生ごみの適正処理について農家への指導を徹底する。 ○ 青色LEDライトを20基貸し出す。 ○ 危険防止広報をおこなう。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の安全確保のため耕作放棄地の適正管理の指導をおこなう。 <p>(4)その他</p>	<p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵実証試験事業(町単独事業)として電気柵の貸出をおこない忌避効果の実証をおこなった。 ○ 講習会を開催し被害防止情報の共有を図った。 ○ 廃棄野菜、生ごみの適正処理について農家への指導を徹底した。 ○ 青色LEDライトを20基貸し出した。 ○ 危険防止看板(イノシン注意)を設置した。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の安全確保のため耕作放棄地の適正管理の指導をおこなった。 <p>(4)その他</p>	
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町独自に放射性物質の測定する。 ○ 捕獲個体の処分方法を検討する。 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町独自に放射性測定を実施した。 ○ 捕獲個体の処分方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ C134:最高13Bq。最低不検出。平均で約6Bq程度。 ○ C137:最高65Bq。最低不検出。平均で約27Bq程度。 ○ 処分方法を検討するも適切な方法見いだせず。

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

柴田町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.50 ha (H27) 1.80 ha</p> <p>(2)金額 500 千円 (H27) 910 千円</p> <p>(3)作物 ばれいしょ、たけのこ、水稻、大豆、そば</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.67 ha</p> <p>(2)金額 1,311 千円</p> <p>(3)作物 ばれいしょ、たけのこ、水稻、かぼちゃ、そば、さつまいも</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 電気柵の設置は増加しているが、イノシシの頭数は確実に増えてきている。今後集落ぐるみで電気柵が増えれば柵外でわなを設置して捕獲頭数の増加につながる。タケノコの被害も拡大し、被害金額の増加につながっている。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 100 頭 (個体数調整) 100 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農作物被害の大きい地域において、鳥獣被害防止講習会を実施する。 ○ 主に農業従事者へ向け、免許取得に関する講習会を実施し、免許所有者の増加を図る。 ○ 電気柵の増設を図るため、購入費用の補助を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 住民の安全確保のため農道及び林道の草刈りを実施し生息地の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他 ○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 91 頭 (個体数調整) 91 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農作物被害の大きい地域において、鳥獣被害防止講習会を実施した。 ○ 主に農業従事者へ向け、免許取得に関する講習会を実施し、免許所有者の増加を図った。 ○ 電気柵の増設を図るため、購入費用の補助を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 住民の安全確保のため農道及び林道の草刈りを実施し生息地の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他 ○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 7,183 千円 (内訳) 町単独分 4,888 千円 集落ぐるみ交付金 2,295 千円</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

川崎町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 4.92 ha (H27) 7.03 ha</p> <p>(2)金額 489 千円 (H27) 699 千円</p> <p>(3)作物 水稲・かぼちゃ・飼料作物・芋類</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.33 ha</p> <p>(2)金額 276 千円</p> <p>(3)作物 水稲・そば・飼料作物・芋類等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 川崎町内全域を対象として有害鳥獣捕獲を実施、併せて町単独事業の電気柵導入補助事業を実施した。</p> <p>年々被害が増え、耕作意欲の低下がおき遊休農地になっている畑等が拡大しているのが見受けられる。そのため被害の報告がなされない農地が多数ある。今後このような農地が増えることでイノシシの増加が懸念されるので、効率的な捕獲方法の普及や防除方法等の普及を図っていく。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 250 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 年間250頭を捕獲目標として川崎町有害鳥獣捕獲隊による捕獲を実施。</p> <p>○ 電気柵設置の補助を実施。(単独世帯導入に対し、設置費用の6割を補助。3世帯以上の大規模導入に対して設置費用を8割に嵩増し補助)</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 看板を設置し、有害捕獲の周知活動及び、周辺住民への理解促進を行う。</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 166 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 電気柵設置助成は個人34件、広域2件の利用があった。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 看板などは設置できなかったが、被害現場確認の際には効果的な防護柵の設置方法や、対策の指導を行った。</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 正しい防護柵の設置方法等の紹介を町広報にて周知した。</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p>8,033 千円</p> <p>○ H28農作物防除協議会委託費 2,739千円</p> <p>○ 緊急捕獲イノシシ分 1,330千円</p> <p>○ 電気柵補助金 3,964千円</p> <p>○ 電気柵の補助等行ってきたが、間違った設置などしている方が多く見られた。今後更なる電気柵の普及を推進すると共に、適切な使用方法の指導も徹底していく。</p>
<p>3 その他</p> <p>○ 放射性物質の調査捕獲した個体を可能な限り町役場に設置している測定器を使用して計測する。</p>	<p>3 その他</p> <p>○ 放射能測定を行った。基準値以上の放射能は検出されなかった。</p>	<p>○ 今後も実施していく。</p>

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 20.00 ha (H27) 6.35 ha</p> <p>(2)金額 4,000 千円 (H27) 1,129 千円</p> <p>(3)作物 水稲、豆類、たけのこ、ジャガイモ、たまねぎ、大根、デントコーン等</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 田、畑だけではなく、宅地の庭を掘り返すなどの被害報告がある。夜間の被害が多い。</p> <p>○ 阿武隈急行線北丸森駅周辺の住宅街で、夜間、イノシシが道路をうろついているとの報告があった。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 16.12 ha</p> <p>(2)金額 4,323 千円</p> <p>(3)作物 水稲、豆類</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 住宅の庭、道路脇、畦畔など、農地に以外の掘起しも目立つ</p> <p>○ また、道路の横断・飛び出しによる車と衝突などの被害が起きている。</p>	<p>○ 面積、金額とも平成27年度の実績を上回る結果となった。これは、平成27年9月に発生した台風被害によるものが大きかったため、鳥獣被害の申告が少なかったものと考えられる。</p> <p>○ 平成28年度のイノシシの捕獲数は、これまでの最多となる1,649頭であり、農作物被害を減少させるため、有害鳥獣駆除隊の活動の成果が現れている。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 2,000 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 狩猟免許及び銃砲所持許可取得者支援の補助金を交付。</p> <p>○ 電気柵等の防除対策に対する補助金の交付。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 1,649 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 狩猟免許取得者への補助 5件</p> <p>○ 銃砲所持許可取得者への補助 1件</p> <p>○ 電気柵等設置者への補助 118件</p>	<p>※年間被害対策経費合計 22,657 千円</p> <p>○ 有害鳥獣駆除隊員個人所有の銃器及びイノシシ用箱わな、くりわなを使用(1,649頭のうちわなによる捕獲1,369頭、銃による捕獲280頭)</p> <p>○ 巻狩りでは、猟犬を使用</p> <p>○ 狩猟免許取得者は前年の3件から2件増加した。</p> <p>○ 広報による狩猟免許試験日程のと町の補助制度のお知らせの効果があった。</p> <p>○ 今年度の捕獲頭数に見られるように、イノシシの出現が多かったためか、電気柵等を設置し防除する農家が昨年に比較して多かった。</p> <p>○ 被害報告のうち何%が電気柵を設置したかは把握していない。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>○ 関係機関と連携し、被害防止に関する研修会を実施。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 雑草、雑木の繁茂する荒地等の解消、野菜・果物の取り残し、放置をしないこと等の呼びかけを行う。</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の開催。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 県、町、森林組合、農協、行政区長などで構成する鳥獣被害対策協議会総会において、総合的な被害防止体系を確立した。</p> <p>○ 地区主催による鳥獣被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 4.62 ha (H27) 3.87 ha</p> <p>(2)金額 5,190 千円 (H27) 4,432 千円</p> <p>(3)作物 水稻、大豆、バレイショ、タマネギ等</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.41 ha</p> <p>(2)金額 8,269 千円</p> <p>(3)作物 水稻、じゃがいも、とうもろこし、たけのこ、そば、長ねぎ、山芋、白菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 被害面積・金額ともに昨年度よりも約2倍に増加し、鳥獣被害防止計画(平成27年度策定)にて設定した目標を達成することはできなかった。</p> <p>○ 要因としては大規模防護柵(ワイヤーメッシュ柵)を設置し数年が経過したことにより、防護柵に慣れたイノシシがふさぐことのできない道路や水路、降雨による土砂流失などによって発生した柵の設置不備箇所等からの侵入の増加が原因と考えられる。また、生息頭数の増加も原因の1つと考えられる。今後は、柵の維持管理の徹底や捕獲も含めたより一層の対策が必要である。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 500 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>○ 地域ぐるみの捕獲対策を活用し、見回りなどの負担を軽減したうえで、箱わなを配備し、捕獲を進める。</p> <p>○ 箱わなを主体に捕獲を通年で実施するとともに、くくりわなの導入を推進する。</p> <p>○ 箱わなを購入する団体に対し補助を行い、集落ぐるみの取り組みを促進する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 417 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>○ 平成28年度は地域ぐるみの捕獲対策実施地区が13地区増え、計19地区となった。また、地域ぐるみの捕獲対策実施地区において新たに箱わなを44基設置し、計68基となった。</p> <p>○ 平成28年度は箱わなを58基購入し、計201基で有害捕獲(通年)を実施した。また、くくりわなも12基購入し、計109基で有害捕獲を段階的に実施した。なお、平成28年度におけるくくりわなによる捕獲頭数は16頭であった。</p> <p>○ 平成28年度の実績はなし。</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p>49,771 千円</p> <p>○ 捕獲数については、目標値に達していないが、有害鳥獣捕獲頭数としては過去最高となった。</p> <p>○ 猟友会の高齢化により、捕獲従事者が減少する中で、今後、地域ぐるみの被害防止対策がさらに重要になってくることから、実施地区をさらに増やすためにも、地域農業者等を対象に研修会を実施し、先行事例等を情報提供していくことが必要である。</p> <p>○ 箱わなに入らない個体については、くくりわなによる捕獲が有効と評価しており、今後も錯誤捕獲や安全対策に配慮し、実施していく。</p> <p>○ 被害防止・捕獲従事者確保のためにも、補助制度の広報を積極的に行っていく必要がある。</p>

H28計画	H28実績	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置における作業効率や錯誤捕獲防止に配慮し、くくりわなの使用を促進する。 ○ 有害捕獲によるイノシシ捕獲者に対し、報奨金を支払う。 ○ 狩猟免許(銃・わな)取得のための講習会及び銃猟免許を取得した初心者講習会受講者に対し、経費助成を行い、狩猟者の確保に努める。 ○ 狩猟免許を有しない地域の農業者等について箱わなの見廻りや餌の給餌等の業務に従事する地域ぐるみの捕獲対策を推進し、地域の自主防除意識の高揚を図る。 ○ 捕獲活動に係るガソリン代等の資金面の負担を軽減するために、国の鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、捕獲経費の補助を行う。 ○ 鳥獣被害対策実施隊の必要性、在り方、活動内容等について検討していく。 <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体等に対して農作物被害防止施設の設置費用を補助する。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシの生息地となりうる耕作放棄地における管理や利活用方法について情報提供を行うとともに、土地所有者の意向を伺いながら、解消に向けた取り組みを行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年度はくくりわなを12基購入し、計109基で有害捕獲を段階的に実施した。なお、平成28年度におけるくくりわなによる捕獲頭数は16頭であった。 ○ 平成28年度も継続して本制度を活用し、イノシシ捕獲の強化を図った。(5,000円/頭) 対象捕獲頭数 417頭(再掲) 報奨金総額 2,085,000円 ○ 狩猟免許(銃・わな)試験講習会助成 15名 猟銃等初心者講習会助成 1名 ○ 平成28年度は地域ぐるみの捕獲対策実施地区が14地区増え、計20地区となった。また、従事者数は計213人、捕獲実績は計103頭となった。 ○ 平成28年度も継続して本制度を活用し、イノシシ捕獲強化を図った。 成獣(8,000円/頭) 幼獣(1,000円/頭) 対象捕獲数 379頭 内 訳 成獣 350頭 幼獣 29頭 交付金総額 2,829,000円(イノシシ分) ○ 関係各課で設置に向けた検討会を実施し、意見の集約を図った。 <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国補助 4団体 49.5km(ワイヤーメッシュ柵) 市補助 25団体(計65か所) 36.7km(電気柵) <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作放棄地の維持管理について、イノシシ侵入防止のためにも、耕作放棄地の草刈りなどを実施するように広報した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箱わなに入らない個体については、くくりわなによる捕獲も有効と評価しており、今後も錯誤捕獲や安全対策に配慮し、実施していく。 ○ 捕獲意欲の向上と維持のため、国や県の補助制度や、報奨金制度を活用し、対応していく。 ○ 被害防止・捕獲従事者確保のためにも、補助制度の広報を積極的に行っていく必要がある。 ○ 猟友会の高齢化により、捕獲従事者が減少傾向にあるため、今後、地域ぐるみの被害防止対策がさらに重要になってくることから、実施地区をさらに増やすためにも、地域農業者等を対象に研修会を実施し、先行事例等を情報提供していくことが必要である。 ○ 捕獲意欲の向上と維持のため、国や県の補助制度や、報奨金制度を活用し、対応していく。 ○ 平成30年度の設置に向け、引き続き活動内容等を精査していく。 ○ 平成21年度以降のワイヤーメッシュ柵の設置実績は360kmとなっているが、維持管理の徹底が被害防止のためには必要である。 ○ 引き続き、耕作放棄地の草刈りなどがイノシシの侵入防止に有効であることの広報に努め、生息地の適正管理を行う必要がある。

H28計画	H28実績	評価
<p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 捕獲技術講習会等の実施 効率的なイノシシ捕獲対策や被害防止に関する講習会等を開催する。 ○ 広報 <ul style="list-style-type: none"> ①仙台市農作物有害鳥獣対策協議会の活動をホームページで市民に情報提供し、活動の理解と協力を得る。 ②「農政だより」やパンフレット等により、鳥獣による農作物被害防止に関する情報提供、啓発を行う。 	<p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシ捕獲に係る捕獲技術講習会を主に地域ぐるみの捕獲対策従事者を対象に外部講師を招いて5回開催 (7/24、10/22、11/20、1/21、1/22) ○ 農政だよりや仙台市農作物有害鳥獣対策協議会ホームページにて、活動内容や被害防止対策について啓発・広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も引き続き、情報提供や講習会を行っていく必要がある。 ○ 今後も引き続き、啓発・広報を行っていく必要がある。 ※電気柵の設置状況について、被害報告があった農地に対してどの程度普及しているかというデータは持っていないが、電気柵の設置が進んでいる地域においては被害が少ないため、効果があると考えられる。
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県等が主催する会議に参加し、被害状況や被害防止対策等の情報交換、広域連携での対応などにより、被害を防止する。 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県が主催する会議に参加し、情報収集に努め、機会を見つけて被害の出ている地区へ情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も引き続き、情報収集し、被害地域への広報等を行い、被害防止につなげていく。

名取市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.50 ha (H27) 2.50 ha</p> <p>(2)金額 3,000 千円 (H27) 3,250 千円</p> <p>(3)作物 野菜(イモ類、トウモロコシ)水稲、筍</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.40 ha</p> <p>(2)金額 3,000 千円</p> <p>(3)作物 野菜(イモ類、トウモロコシ)、水稲、筍</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 平成27年度に鳥獣被害防止総合支援事業により導入したワイヤーメッシュ柵により被害減少。平成28年度に導入したワイヤーメッシュ柵については、設置完了が年度末であったため、効果は平成29年度において確認を行いたい。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 100 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農作物被害の大きい集落において、鳥獣被害防止指導を実施する。 ○ 捕獲機材の無償貸与を行う予定である。また、農業者等向けに免許取得に関する講習会を受講させ、狩猟者の育成を図る。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農地周辺の除草作業を推進する。</p> <p>(4)その他 ○ 侵入防止柵延長 13,000m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 96 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農地に野菜くず等のイノシシを誘引するものを放置しないよう指導する。 ○ 免許所有者に捕獲用わなの貸し出しを行い、有害鳥獣の捕獲に活用された。また、農業者等向けに免許取得に関する講習会を受講させ、狩猟者の育成を図った。 ○ 被害防止講習会に隊長等を派遣し、鳥獣の発生状況や集落における被害対策について、知識の向上を図った。 ○ 侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)を設置した。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農地周辺の除草作業を推進した。</p> <p>(4)その他 ○ 侵入防止柵延長 13,000m</p>	<p>※年間被害対策経費合計 3,000 千円</p> <p>○ イノシシ捕獲用箱わな、くくりわなを使用した。止めさしに限り銃器を使用した。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p> <p>○ 放射性物質の検査 年2~3回程度実施した。市直営でも検査した。</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

岩沼市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.86 ha (H27) 0.95 ha</p> <p>(2)金額 2,258 千円 (H27) 2,509 千円</p> <p>(3)作物 水稲、野菜、たけのこ、いも類など</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.10 ha</p> <p>(2)金額 4,532 千円</p> <p>(3)作物 野菜、豆類、水稲、たけのこ、いも類など</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 昨年度はイノシシの被害報告が急増した。被害面積や金額についても大幅に増加しており、特に、タケノコ、大豆、イモ類、野菜の被害報告が多数ある。</p> <p>平成28年度は捕獲頭数を上げるべく、従来設置していた箱わなに加え、くくり罠の設置を出没報告に合わせて多用するように努めた。このような取り組みを通して、捕獲頭数は平成27年度の25頭に比べ大幅に増加したが、それでも被害面積及び金額は大幅に増加した結果となった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 40→70 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 捕獲機器の貸し出し、狩猟免許の取得助成、捕獲に応じた捕獲活動経費の補助</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ ノシシ用捕獲資材により、山間部等において通年での捕獲活動を実施する。など山林等にイノシシが食すものが無くなる冬の時期(11月～2月)に重点的に活動を実施する。また銃器による捕獲活動も実施する。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 77 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 捕獲機器の貸し出し、狩猟免許の取得助成、捕獲に応じた捕獲活動経費の補助</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 冬季に箱わなを1基増設すると共に、くくり罠を機動的に使用し、捕獲頭数の増加に努めた。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 2,091 千円</p> <p>○ イノシシによる被害報告があった農地約2.2haのうち、対策として電気柵を設置したという農地は約1.1haで普及率は約50%だった。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

亘理町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.45 ha (H27) 3.50 ha</p> <p>(2)金額 2,450 千円 (H27) 3,500 千円</p> <p>(3)作物 水稲、大豆、野菜(馬鈴薯、スイートコーン、ほうれん草等)、果樹(りんご)</p> <p>(4)その他 山手だけでなく、住宅密集地での目撃情報もあがっている為、町全域で周知を行っている。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.50 ha</p> <p>(2)金額 3,498 千円</p> <p>(3)作物 水稲、大豆、野菜(馬鈴薯、スイートコーン、ほうれん草等)、果樹(りんご)</p> <p>(4)その他 山手だけでなく、住宅密集地での目撃情報もあがっている為、町全域での周知を行った。</p>	<p>○ 被害面積及び被害金額を目標に近づけることはできなかった。また、昨年の被害状況実績と比較すると、被害面積及び被害金額に差異はほとんどなかった。原因としては、イノシシの出没範囲の広域化、食性の変化などがあげられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 100 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 地元農家の狩猟免許取得者に箱罠を貸し出し、有害鳥獣駆除を実施する。 ○ 町単独事業の捕獲報奨制度を計画・活用しながら、狩猟期間における捕獲を推奨する。 ○ 実績や周辺状況を調査し、罠の適正配置に努める。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 緩衝地帯を設置できる場所を調査し、管理不適切地等(耕作放棄地)を解消しながら、地元農家や該当集落の協力を得て、緩衝地帯をできる限り多く設置する。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 72 頭 ○ 目標頭数には届かない数ではあったが、昨年度よりも大幅に捕獲頭数が増加した。</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 地元農家の狩猟免許取得者に箱罠を貸し出し、有害鳥獣駆除を実施した。 ○ 町単独事業の捕獲報奨制度を計画・活用しながら、狩猟期間における捕獲を推奨した。 ○ 実績や周辺状況を調査し、罠の適正配置に努めた。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 緩衝地帯を設置できる場所を調査し、管理不適切地等(耕作放棄地)を解消しながら、地元農家や該当集落の協力を得て、緩衝地帯をできる限り多く設置した。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 3,750 千円</p> <p>○ (電柵補助金789千円・亘理町総合農政企画推進協議会有害鳥獣駆除費2,543千円)</p> <p>○ イノシシ用箱罠、くくり罠を設置</p> <p>○ 平成28年度の電柵設置については町単独補助金を支出しているのは16件、そのうち被害の増加に関する連絡などは来ていない。しかし、個人負担で設置している農地もあるので普及率は正確には把握していない。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.22 ha (H27) 1.53 ha</p> <p>(2)金額 1,540 千円 (H27) 1,927 千円</p> <p>(3)作物 水稻・タケノコ・とうもろこし・ じゃがいも・大豆・さといも・野 菜類</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.97 ha</p> <p>(2)金額 3,539 千円</p> <p>(3)作物 水稻、大豆、かぼちゃ、いちじ く、さといも、さつまいも、じゃ がいも、ブロッコリー、スイート コーン、ほうれんそう</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 息範囲の拡大、生息数の増加により被害面積、金額が増加したものと考えられるが、一方で捕獲数は近年最大のものとなった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 100 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵等の防護策に対し、1/2の補助を実施</p> <p>○ 電気柵等の自己防衛で対応できない場合は、個体数調整、有害捕獲で対応</p> <p>○ 今年度から、鳥獣被害対策実施隊が設置されたことにより、年間を通して被害対策及び個体数調整に対応する。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ イノシシの出没(被害)区域が拡大しつつあるため、生息地拡大を抑止する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 92 頭 (個体数調整) 72 頭</p> <p>○ 当初100頭の個体数調整を計画していたが、計画を上回るペースで捕獲があった為、さらに100頭分の有害鳥獣捕獲許可を交付した。結果、個体数調整72頭、有害鳥獣92頭を捕獲した。</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵、金網等の防護策に対し1/2の補助を実施。</p> <p>○ 28年度から実施隊を設置。年間を通して個体数調整及び有害鳥獣捕獲に対応。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 町内西側にある東街道周辺が主な生息区域であり、山間部の農作物に被害が多くなっている。また、近年においては、6号線以東の浜通り地区にも出没している。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 4,143 千円</p> <p>○ 実施隊の設置により、有害鳥獣捕獲及び個体数調整における捕獲実績は、計画を大きく上回った。</p> <p>○ 猟期間における捕獲頭数も226頭と年間での町内合計390頭もの捕獲数を上げた。</p> <p>○ 近年最大の捕獲頭数を挙げたことから、29年度においては捕獲頭数及び被害が減少する可能性がある。</p> <p>○ 被害報告のあった農家への電気柵の普及率に関しては把握していない。</p> <p>○ 電気柵への助成申請者は31名。</p> <p>○ 農作物有害鳥獣対策協議会(決算額から) 3,154千円</p> <p>○ 被害防除対策助成金(電気柵) 989千円</p>

H28計画	H28実績	評価
(4)その他 ○ 住民からの被害情報があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。	(4)その他	
3 その他	3 その他	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

大和町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 5.76 ha (H27) 8.23 ha</p> <p>(2)金額 3,763 千円 (H27) 5,375 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 大麦, 大豆, タケノコ, ジャガイモ, サツマイモ, ゆり 等</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 12.72 ha</p> <p>(2)金額 11,583 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 麦, 豆, 野菜, イモ類</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 狩猟免許等を取得する方 に対しての補助により捕 獲対策の強化を図ったほ か, 環境対策として町民 への情報提供と農地整備 等の指導, さらに防護柵 (広域ワイヤーメッシュ柵 等)を導入したが, 個体数 の増加と行動範囲の広域 化などで被害は増加し た。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正管理す るよう農家へ指導する。 ○ 侵入防止対策等の指導。 ○ ワイヤーメッシュ柵の購入及 び設置。 ○ 狩猟免許取得に係る補助制 度の実施に伴い, 狩猟者の確 保及び捕獲対策の強化</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農作物収穫残渣の除去や追 い払い花火などの導入によ り, 自衛体制を強化。</p> <p>(4)その他 ○ 防護柵設置 8,100 m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 96 頭 (個体数調整) 0 頭 ○ くくりわな、囲いわな等の購 入・設置により、効率・効果的 な捕獲が図られた。</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正管理す るよう農家へ指導。 ○ 侵入防止対策等の指導。 ○ ワイヤーメッシュ柵の購入, 設 置(約17.3km) ○ 狩猟免許取得に係る補助制 度の実施に伴い, 狩猟者の確 保及び捕獲対策の強化(平成 28年度新規狩猟免許取得者 2名、更新者8名に補助)</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農作物収穫残渣の除去や追 い払い花火などの導入によ り, 自衛体制を強化を促した。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 11,182 千円</p> <p>○ 捕獲頭数が前年度実績比 2.2倍となり、個体数が 年々増加していることが わかる。今後も捕獲強化 を図る。</p> <p>○ ワイヤーメッシュ柵を地域 ぐるみで大規模に設置し たことにより, 設置地域内 の被害が軽減された。</p>
<p>3 その他</p> <p>○ 広報紙等を活用し, 被害対策 や注意喚起等, 町民への情 報発信。</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

大衡村

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.15 ha (H27) 0.63 ha</p> <p>(2)金額 553 千円 (H27) 242 千円</p> <p>(3)作物 水稻・野菜</p> <p>(4)その他 大衡村西部地区(大瓜上・大瓜下・松原地区)で被害報告がある。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.65 ha</p> <p>(2)金額 241 千円</p> <p>(3)作物 水稻・野菜</p> <p>(4)その他 大衡村西部地区(大瓜上・大瓜下・松原地区)で被害報告があった。</p>	<p>○ 被害面積, 金額共に前年度実績とほぼ同等の数値となった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 10 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導する。 ○ 電気柵設置の補助を行う。 ○ 免許取得者に対する助成を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 休耕地について除草を実施し, 生息域の適正管理を推進していく。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 23 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導した。 ○ 電気柵設置の助成を行った。 ○ 免許取得者に対する助成を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 休耕地について除草を実施し, 生息域の適正管理を推進した。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 千円</p> <p>○ 電気柵の設置状況について, 村の購入補助事業適用件数のみ把握。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.25 ha (H27) 0.46 ha</p> <p>(2)金額 269 千円 (H27) 302 千円</p> <p>(3)作物 水稻</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.00 ha</p> <p>(2)金額 2,000 千円</p> <p>(3)作物 水稻, 牧草, 野菜</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 昨年に比べイノシシの出没が多く、被害が大幅に増加した。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p> 捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 10 頭</p> <p>(個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 電気柵の貸出を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 被害防止の観点から出没地について、生息域の確認を行う。</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p> <p>○ 必要に応じ、わなを設置し有害捕獲を行う。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p> 捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 0 頭</p> <p>(個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 電気柵の貸出し</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p>0 千円</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

色麻町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.46 ha (H27) 7.30 ha</p> <p>(2)金額 697.6 千円 (H27) 1,186 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 野菜, その他</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.18 ha</p> <p>(2)金額 408 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 果樹, 飼料作物, いも類</p> <p>(4)その他 人身被害1件</p>	<p>○ 被害が多く発生していた地区が, 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業として県から指定され, 被害防除研修会や侵入防止柵を設置したことから, 被害が軽減した。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 25 頭 (個体数調整) 5 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ チラシ配布による広報活動 ○ 有線放送による注意喚起</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 有線放送による周知</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ チラシ配布による広報活動 ○ 有線放送による注意喚起</p> <p>○ 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止柵の設置を行った。(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。</p> <p>○ 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業として, 県から指定された地区で, 被害防除研修会や侵入防止柵の設置等を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 有線放送による注意喚起 ○ 地域が主体となり, 草刈り等を行った。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 5,341 千円</p> <p>被害対策経費内訳 色麻町鳥獣被害対策実施隊員報酬 107千円 色麻町有害鳥獣対策協議会 209千円 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 5,025千円</p> <p>○ 侵入防止柵の設置状況について, 被害報告があった農地では普及していない(0%)。</p> <p>※宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用して, 柵を設置した地区では, 被害が軽減しているが, 予算の関係上, 柵を設置できない地区の農地に被害が発生したため。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.00 ha (H27) 2.29 ha</p> <p>(2)金額 666 千円 (H27) 741 千円</p> <p>(3)作物 水稲、サツマイモ、牧草</p> <p>(4)その他 冬期間に巻き狩りを実施し、捕獲頭数の向上を図る。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.13 ha</p> <p>(2)金額 1,146 千円</p> <p>(3)作物 水稲、サツマイモ、牧草</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 冬期間、巻き狩りを実施し45頭の捕獲実績となった。生息数は大幅に増加しているため、今後も加美町鳥獣被害対策実施隊の協力を得ながら有害駆除を実施していく。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵の設置に対する補助を実施する。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 耕作放棄地での除草を指導する。</p> <p>(4)その他 ○ 町鳥獣被害防止対策協議会活動を周知する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 45 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵等12件の購入助成を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 耕作者への適正管理指導を実施した。</p> <p>(4)その他 ○ 広報誌等で電気柵導入助成等について周知を図った。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 2,225 千円</p> <p>○ 被害防除に一応の効果がみられるので継続して実施する。</p> <p>○ 高齢者が多く農地の適正管理が困難なため、今後の農地管理について検討する。</p> <p>○ 今後も継続して導入助成を実施する。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成28年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

栗原市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.59 ha (H27) 0.71 ha</p> <p>(2)金額 307 千円 (H27) 70 千円</p> <p>(3)作物 水稻</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.92 ha</p> <p>(2)金額 685 千円</p> <p>(3)作物 水稻、サツマイモ</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 平成27年度より被害面積及び額が大幅に増大した。</p> <p>○ イノシシの目撃件数が平成27年度まで10件前後で横ばいであったが、平成28年度は99件となり約12倍の増加となった。</p> <p>○ 市の有害鳥獣捕獲許可で50頭のイノシシが捕獲されるに至っており、今後さらに頭数の増加が懸念される。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 出来る限り多くの捕獲を目標とする (個体数調整)</p> <p>○ 人的被害の恐れ及び農作物被害等が発生した場合など、県の個体捕獲事業などと連携して捕獲を実施する。</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。</p> <p>○ 誘引物となる廃棄野菜等の適正処理を市民へ指導する。</p> <p>○ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息地の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>○ 人的被害の恐れ及び農作物被害等が発生した場合など、県の個体捕獲事業などと連携して捕獲を実施した。</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 防護柵(電気柵等)設置の補助を行った。</p> <p> 誘引物となる廃棄野菜等の適正処理を市民へ指導した。</p> <p>○ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図った。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 被害耕作地に接する山林側の除草を指導。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 500 千円</p> <p>被害対策経費内訳 電気柵購入補助 500千円</p> <p>○ 防護柵等の設置により被害防除が図られた。</p> <p>○ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施した。</p> <p>○ 適時対応していただいた。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p> <p>○ イノシシによる被害防止を図るため、宮城県鳥獣被害防止総合支援交付金を活用していく。</p>	<p>○ 平成29年度より実施予定</p>